

蒼穹NEWS No.6

第75回東大戦総括号

平成14年10月18日発行



5000m 佐藤章徳(右から二人目)と西村重行(左から二人目)

~~~~ 目 次 ~~~~

- 東大戦の対校得点
- 主将挨拶
- 東大戦の詳細
- 関西学生女子駅伝の結果
- 新幹部挨拶

東大戦の対校得点

10月12日(土) 山城総合運動公園

第75回東京大学・京都大学対校陸上競技大会

総合優勝 京都大学(通算48勝27敗)

総合得点

京都大学 180 - 171 東京大学

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	京大の得点	東大の得点
100m (+0.9m)	広瀬亮平 10.96	花谷直人 11.18	米田武史 11.18	北垣 卓 11.19	式場健太 11.26	鈴木貴博 11.43	14	7
200m (-1.4m)	広瀬亮平 22.14	北垣 卓 22.52	藤井章輔 22.68	式場健太 22.79	肥後明佳 22.98	鈴木貴博 23.55	15	6
400m	村地優樹 50.65	石井康雄 50.77	高倉栄男 50.86	花谷直人 50.88	堀江 匠 51.54	今泉 勇 52.79	11	10
800m	大竹洋平 1.56.58	村井昂志 1.58.55	石井康雄 1.58.98	前田昌也 1.59.04	磯島 弘 1.59.86	寺田 智 2.00.75	6	15
1500m	西村好康 4.07.46	安達太一 4.09.38	山本晃祥 4.10.44	中原健二 4.10.69	山崎圭介 4.11.03	大畑 合 4.18.75	9	12
5000m	西村好康 15.20.76	相原佑康 15.30.15	佐藤章徳 15.30.83	田辺匡亮 15.34.11	西村重行 15.39.19	小山剛史 15.44.79	12	9
110mH (-1.1m)	佐藤真一郎 15.43	尾崎禎亮 15.71	田中 啓 15.87	若山哲志 15.93	藤田靖浩 16.14	岸岡 哲 20.43	14	7
400mH	寺田 悟 54.25	高倉栄男 56.48	若山哲志 58.37	尾崎禎亮 58.75	南條 靖 58.96	田中 啓 NR	13	7
4×100mR	京都大学(花谷・広瀬・藤井・北垣) 42.41			東京大学(肥後・鈴木・高倉・式場) 42.57			6	2
4×400mR	東京大学(高倉・林・石井・大竹) 3.21.98			京都大学(花谷・藤井・堀江・村地) 3.24.86			2	6
トラック合計							102	81
走高跳	村口和人 1m90	藤原 啓 1m90	渡邊浩一 1m90	森下 聡 1m85	横矢龍之介 1m85	田中智弘 1m80	7	14
棒高跳	川添雄太 4m50	島田俊雄 3m60	佐藤真一郎 3m40	水田真人 3m20	小笠原義之 2m90	花谷直人 2m90	8	13
走幅跳	杉本昌大 6m82	藤田靖浩 6m80	宮田征門 6m59	橋本 武 6m57	粟村聡資 6m50	吉岡和夫 6m38	12	9
三段跳	藤田靖浩 14m47	横矢龍之介 14m33	福山大典 14m03	粟村聡資 14m02	川添雄太 13m61	橋本 武 13m26	12	9
砲丸投	出口雅俊 12m62	竹村顕大朗 11m21	河村和彦 10m64	阿部太一 10m14	八木美典 9m73	岡本泰英 7m93	11	10
円盤投	出口雅俊 36m09	岡本泰英 32m72	河村和彦 31m86	島田俊雄 30m41	垣畑 陽 29m09	堤 哲生 28m70	7	14
ハマー投	河村和彦 42m61	出口雅俊 40m12	小笠原義之 35m25	八木美典 35m17	木村克也 31m73	岡本泰英 22m61	11	10
やり投	堤 哲生 59m92	出口雅俊 49m29	池田大行 46m05	松田 俊 46m05	島田俊雄 44m58	八木美典 43m99	10	11
フィールド合計							78	90
総合得点							180	171

第1回東京大学・京都大学対校陸上競技大会

総合優勝 東京大学

総合得点

京都大学 25 - 41 東京大学

	1位	2位	3位	4位		京大の得点	東大の得点
100m (+0.1m)	帰山祐佳 12.85	塩入敦子 13.11	北川佳奈 14.24	滝上伸子 14.31		3	7
400m	帰山祐佳 59.47	塩入敦子 59.92	北川佳奈 72.68	溜 宣子 75.14		3	7
800m	目黒亜由子 2.21.63	岩瀬祥子 2.40.35	濱田摩耶 2.42.93	溜 宣子 2.52.95		4	6
3000m	山下里絵 11.41.34	中村奈都子 11.44.77	平野茉来 12.46.22	宮本幸子 13.39.70		7	3
4 × 100mR	東京大学(中西・塩入・目黒・帰山) 50.21			京都大学(滝上・北川・岩瀬・中村) 59.29		2	4
トラック合計						19	27
走幅跳	中西紅美 5m10	塩入敦子 4m68	北川佳奈 4m38	滝上伸子 4m35		3	7
砲丸投	中西紅美 9m44	帰山祐佳 7m93	滝上伸子 5m81	岩瀬祥子 5m69		3	7
フィールド合計						6	14
総合得点						25	41



ハンマー投 河村和彦

主将挨拶

去る10月12日、山城総合運動公園陸上競技場にて第75回東京大学京都大学対校陸上競技大会兼第1回東京大学京都大学対校女子陸上競技大会が行われました。東大には今年の七大戦で一度勝利を収めているとはいえ、東大の地力の強さを知る我々は油断すること無く完全勝利を目指して戦いに挑みました。そしてフィールドでやや遅れは取ったものの、トラックで突き放し、夏の七大戦に引き続き見事我らの勝利で幕を閉じました。敗戦続きだった昨年からチーム一丸となって勝利の為に練習に取り組み部員一人一人が肉体的にも精神的にも大きく成長した結果であると思います。我々応援の為にはるばるお越し頂いたOBの方々の期待にお応えすることが出来て喜ばしい限りであります。

さて私はこの東大戦を持ちまして京都大学陸上競技部主将の任を降り中距離の寺田智（法・3）に後継させたいと思います。今年度、我々がただ一つだけ果たせなかった夢、関西IC一部昇格は新主将寺田率いる陸上部が必ずや来年度に果たしてくれると信じています。この1年間は競技力で仲間達を引っ張ることも出来ずまた心の弱さも目立つ未熟な主将でしたが先輩方のおかげでやり遂げることが出来ましたことをここに報告致します。1年間、我々に多大なる支援をして下さった蒼穹会の先輩方に感謝の意を表すと共に新しい京都大学陸上競技部の更なる飛躍の為に力を貸して頂けますようどうぞよろしくお願い致します。

ありがとうございました。

京都大学陸上競技部主将 米谷 健司

東大戦の詳細

100m (+0.9m) 10:30

広瀬 亮平	1 位	10.96
花谷 直人	2 位	11.18
北垣 卓	4 位	11.19

大量得点が予想された男子100m、出場者は広瀬、花谷、北垣の3名。広瀬はスタートで少し出遅れたが、中盤で追い上げ、他の選手を抜きさり、前評判どおり1着でゴール。花谷は得意のスタートダッシュが決まり、体1つ前に入る。中盤以降はまいちのびなかったが2着でゴール。北垣はまずまずのスタート。30mあたりから徐々に伸びてくるが、東大の選手をさしきれず4着でゴール。予想通りの大量得点で、他の種目にうまくつなげることができたと言える。(山岸)

走高跳 10:30

渡邊 浩一	3 位	1m90
		1m80 1m85 1m90×× 1m93×××
横矢 龍之介	5 位	1m85
		1m80× 1m85 1m90×××
田中 智弘	6 位	1m80
		1m70 1m75 1m80×× 1m85×××

走高跳には渡邊、田中、横矢の3人が出場した。3人とも実力は未知数である。田中は1m70、1m75を順当にクリアしたが、1m80にあがったところで2本失敗。3本目を何とかクリアしたが、1m85には届かなかった。横矢は最初の跳躍となる1m80を落としたものの、3本目にはクリア。1m85も1本で越えたが、1m90では踏みきりがうまくいわずに3本とも失敗した。渡邊は1m80、1m85を難なくクリアしたが、跳躍が横に流れがちで、1m90は2本失敗。続く1m93は跳べなかった。順位は渡邊の3位が最高であった。(森)

ハンマー投 10:30

河村 和彦	1 位	42m61
		40m92 × 41m67 × × 42m61
八木 美典	4 位	35m17
		33m69 34m78 35m17 × × 34m27
木村 克也	5 位	31m73
		29m18 31m00 31m73 × 31m01 30m50

3人とも、3投目までは上がり調子で、徐々に記録を伸ばしていき、木村が3投目でベストを更新するなど、良いスタートとなった。しかし、4投目では気合が入りすぎてしまったのか、3人そろってファールしてしまった。その間、八木が東大の2番手に抜かれ、3位から4位に後退、巻き返しを狙うも、結局抜けず、惜しくも4位となった。河村は、4、5投目共に、力が入りすぎたのかサークルから出てしまいファール。6投目も危うく出かけたものの、何とかとどまり、記録を伸ばして1位となった。結局、得点では11対10と1点東大を上回り、ベストが

出たこともあり、投擲陣にとっては幸先良い結果となった。(竹村)

女子100m (+0.1m) 10:35

北川 佳奈	3 位	14.24
滝上 伸子	4 位	14.31

女子対校戦最初の種目となった100mだったが、持ちタイムから考えても、厳しい展開が予想されていた。スタート直後、やはり東大の2選手が抜け出し、滝上はまずまずのスタートをしたのに対して、北川はやや出遅れる。中盤以降、東大選手との差が広がる中、持ち直した北川は滝上をかわすが、フィニッシュ付近は少し体が硬くなってしまった。一方滝上はリズムに乗ったまま走っていた感があったものの、最後はやや硬くなってしまったようだ。二人とも昨シーズンより記録は出ているが、自己ベストにはまだ遠い。来シーズンに期待したい。(岩瀬)

1500m 10:45

西村 好康	1 位	4.07.46
山崎 圭介	5 位	4.11.03
大畑 合	6 位	4.18.75

スタートと同時に大畑が飛び出した。西村がそれに続く。山崎は5番手につき、落ちていてスタートした。300mの通過は46秒とかなりハイペースで大畑が飛ばす。500m付近で西村がトップに立つ。大畑は前半のハイペースがたたってか、足の回転が急に遅くなる。山崎は5番手で、冷静にレースを進める。西村は快調に飛ばし、後続を引き離し独走状態。結局、西村は余裕を持って、トップでゴール。山崎はラスト300mでスパートをかけ、一時は3位になったが、残り100mで2人にかわされ無念の5位。大畑はやはり前半のハイペースがたたって、後半は粘れず、6位で終わってしまった。(三好)

走幅跳 11:30

杉本 昌大	1 位	6m82 (±0.0m)
		× 6m44(-0.5) 6m76(+0.5) 6m82(±0.0) 6m64(+0.4) ×
宮田 征門	3 位	6m59 (-1.9m)
		6m59(-1.9) × × × × ×
栗村 聡資	5 位	6m50 (±0.0m)
		6m44(-0.6) 6m46(-1.5) 6m50(±0.0) × 6m30(-1.8) 6m34(±0.0)

走幅跳には宮田、栗村、杉本の3人が出場。栗村は三段跳が専門だが、今回は走幅跳にも出場となった。1本目、向かい風の中6m44のベストを跳ぶと、2本目、3本目も続けて記録を更新。調子も上向いて、更なる記録の更新が期待されたが、それはならなかった。宮田は研究が忙しく、練習不足で臨んだ。1本目に6m59の記録を残したものの、以降は助走が合わず、結局1本目の記録を残すのみであった。杉本は4本目の跳躍で6m82をマークして東大の藤田をリード。記録を狙った6本目は惜しくもファールとなったが、結果は優勝。宮田は3位、栗村は5位であった。(森)

女子走幅跳

11:30

北川 佳奈 3位 4m38(+0.7m)
4m38(+0.7) 4m14(±0.0) 4m15(±0.0) × 4m18(+0.6)-4m17(-0.3)

滝上 伸子 4位 4m35(±0.0m)
× × 4m35(±0.0) × 4m24(±0.0) 4m32(-0.9)

北川・滝上共に100mに続く出場となった。北川は1回目の試技で4m38を跳んでから400mに出場してパスし、戻ってからの試技では疲労もあり、助走のスピードが上がらず、記録を伸ばすことができなかった。実力的にはもっと跳ぶことの出来る選手なのだが、多種目出場で体力的にきつかったようだ。滝上はファールに苦しみ、4回目でやっと記録を残し、結果的にその記録がこの試合での最高記録となった。記録は二人とも本来の力からすれば不本意だろう。今後の奮起に期待したい。(平野)

400m

11:45

村地 優樹 1位 50.65
花谷 直人 4位 50.88
堀江 匠 5位 51.54

短距離種目の中で一番の弱点といわれてきた400m。出場者は村地、花谷、堀江の3名。村地、花谷は前半かなり抑えるという、おなじみのスタイルでレースを展開する。一方、1回生の堀江は一番外のレーンということもあり、前半からスピードを上げていった。200mを過ぎたあたりから花谷が、ついで村地が猛追を見せる。堀江も粘る。村地は最後、東大の選手2人と並びながらも見事振り切り、1着でゴール。花谷は4着、堀江は5着だった。常に弱点といわれてきた種目においてのこの結果は、他の出場選手の大きな励みになったといえる。(山岸)

円盤投

11:45

河村 和彦 3位 31m86
27m91 30m27 31m30 30m41 31m86 ×

垣畑 陽 5位 29m09
× 29m09 × × 26m10 28m01

堤 哲生 6位 28m70
× × 28m70 28m17 27m04 ×

1投目、垣畑と堤はファールだった。垣畑は投げの感覚は良かったらしい。そして2投目で29m台をマーク。河村は足の調子が良くないのか、不調である。2投連続ファールだった堤はターンなしに切り換え、記録を作った。垣畑はその後、ファールが続いた。堤は4投目から再びターンありに切り換えた。河村はやはり足の痛みであまり記録が伸びない。しかし、5投目でなんとかいい記録を出す。気持ちがはやりすぎたのか、垣畑は2投目の記録が最高だった。6投目、堤はいい投げが出来たと思ったが、ネットにあたり、ファール。河村も最後はファールに終わった。(松田)

女子400m

11:50

北川 佳奈 3位 72.68
溜 宣子 4位 75.14

スタート直後、東大の2人が予想通り飛び出す。溜は100mを良いリズムで入る。北川も前半を飛ばしていく。北川は200mあたりで5コースを走る東大の選手に抜かれ、そこから疲れが見え始めスピードが落ちる。溜は300mまで粘っていたが、ラスト100mはスピードが落ちてしまった。しかし、二人とも専門外の多種目出場の中で、精一杯の走りを見せてくれた。(中村)

110mH

(-1.1m) 12:10

佐藤 真一郎 1位 15.43
尾崎 禎亮 2位 15.71
若山 哲志 4位 15.93

フライングが一回あったがその影響はまったくなく京大の3人がスタートから頭ひとつ抜け出す。そしてその3人が、1台目、2台目と軽いハードリングで一気に東大勢を引き離す。このまま京大が3位までを独占するかと思われたが東大の田中が後半に必死で追い上げ、7台目を越えたあたりで若山と尾崎に並び、10台目を越えてゴールするまでもつれたが惜しくも若山がかわされた。佐藤は最後までスピードが落ちることなく、フィニッシュした。結果的に惜しくも京大が上位独占を逃したが、ワンツーフィニッシュをし、京大の強さが光ったレースであった。(油木)

4×100mR

12:30

〔花谷直人 - 広瀬亮平 - 藤井章輔 - 北垣卓〕

1位 42.41

1走、花谷はスタートで鋭い反応で飛び出し少し差をつけ、そのままの差を保っていたが、バトンパスはつまり気味であった。しかし2走エース広瀬が足の調子が悪いながらも中間疾走で東大との差を広げて3走にバトンパス。3走藤井章輔も足の調子が万全ではないため本来の速さではないものの東大には抜かれずアンカー北垣へとつないだ。この時の差は1mほどであったが、切れのある走りですべてをよせつけず1着でフィニッシュした。(平野)

800m

12:45

前田 昌也 4位 1.59.04
磯島 弘 5位 1.59.86
寺田 智 6位 2.00.75

800mには寺田、磯島、前田の3人が出場。スタート直後は東大、大竹が先行するも、すぐに磯島が先頭に立ち、寺田、前田も後ろから様子をうかがう。このまま進むと思われたが400m手前から寺田がペースをあげてレースは一気に混戦模様。バックストレートも磯島が先頭で快走し、後ろからは前田も追い上げてくる。しかし、残り150m付近から東大の追い上げが始まる。大竹が先頭に立つと、他の二人も後方から一気にせまってくる。寺田、磯島がかわされ、前田も最後まで粘るがゴール手前

でかわされ、そのままゴール。昨年の雪辱を果たすことはできなかった。(水井)

女子800m 12:50

岩瀬 祥子 2位 2.40.35
溜 宣子 4位 2.52.95

田端のけがによる影響で、突然、前日に出場することが決定した溜と、この種目が専門の岩瀬が出場した。前日から作戦を練っていた通りに、スタートし、東大の目黒を放っておき、自分たちのペースでレースを展開する。岩瀬はこの種目が専門ということで、意地をはって2位に入った。溜は800mはほとんど出場したことが無いにも関わらず、大崩も無かったようだ。来年の東大戦に繋がるレースとなった。(北川)

200m (-1.4m) 13:15

広瀬 亮平 1位 22.14
北垣 卓 2位 22.52
藤井 章輔 3位 22.68

ランキングからスコンクが期待された200m。実力が突出している広瀬だが、尻が痛いという不安要素があった。しかしスタートすると抜群の飛び出しで、結局2位争いをする選手たちを大きく離して余裕の1着。さすがエースという走りだった。得点上重要となる2位争いは、コーナーの出口では4レーンの東大の式場、5レーンの北垣、7レーンの藤井が追っていたが、北垣、藤井が直線で伸び、式場をかわして、2位北垣、3位藤井でフィニッシュ、見事期待に応えた。(平野)

棒高跳 13:15

佐藤 真一郎 3位 3m40
2m80 3m00 3m20 × × 3m40 3m50 × × ×
水田 真人 4位 3m20
2m90 × 3m00 3m20 × × 3m40 × P
花谷 直人 6位 2m90
2m60 2m80 × 2m90 × × 3m00 × × ×

花谷は、午前中100m、400m二つの競技を終えての参加となった。2m90を持ち前の勝負強さで3度目に成功させたが、疲労の色はやはり隠せず3m00で惜しくも競技を終えた。佐藤は、最近練習を出来ていないと言いつつも、好調な様であぶなげなく試技をすすめていった。自己新記録となる3m40も1度目で成功し、3m50にも期待がかかったが惜しくもそこで試技を終えた。水田は、就職も無事決まり最後の東大戦に臨むこととなった。しかし、卒業に向けての学業による練習不足は否めず、3m20という不本意な結果で最後の対校戦を終えた。最後の試合となる新人戦 OP に期待したい。(田中智)

砲丸投 13:15
竹村 顕大朗 2位 11m21
× × 11m21 × P 10m97
河村 和彦 3位 10m64
10m07 10m61 10m42 × 10m64 10m55
八木 美典 5位 9m73
9m73 9m48 × 9m71 × ×

砲丸投げ第1投目はまずまずといった感じだった。竹村は気合がかなり入っていたが、前から出てしまった。竹村は2投目も距離は出ていたのに勢い余って前から出てしまった。八木、河村は共に2投目は力が砲丸に伝わる投げが出来ていた。4投目、八木は調子が上がってきたのか動きがスムーズになり、いい投げが出来ていた。5投目東大の出口が、12m02の大きな投げをした。竹村は6投目はファールにならなかったが、本来の投げとは程遠かった。結局東大の出口が12m62で優勝した。竹村は2投目あたりから肘に痛みがあったようだ。(木村)

女子砲丸投 13:15

滝上 伸子 3位 5m81
5m78 4m92 5m48 5m77 5m81 5m80
岩瀬 祥子 4位 5m69
5m46 5m69 4m59 5m14 5m54 5m44

砲丸投げには、専門外の二人が出場。岩瀬はフォームは良かったものの、力が抜ける感じがして、水平方向に投げてしまい、記録は伸びなかった。一方、滝上はフォームを変えながらの試技。全身に力が入り、肩がりきんでいたものの、力強さを感じさせてくれた。両者とも、専門種目の疲れの中での出場となったが、全力をつくしてくれた。(溜)

400mH 13:40

寺田 悟 1位 54.25
若山 哲志 3位 58.37
尾崎 禎亮 4位 58.75

号砲が鳴り、寺田と尾崎が前半からスピードにのってとばしていく。一方若山は抑え目にスタートし、3台目のハードルで引っかかり減速してしまう。東大の一人が1台目のハードルで足を痛め、3台目を飛ぶ前に途中棄権する。寺田が300mを過ぎてもスピードが衰えることなく、2位を大きく引き離し、すばらしいタイムでゴール。若山がホームストレートで猛烈に追い上げ、尾崎と接戦してゴール。400mHは京大の3選手それぞれの特徴が出たレースとなり、非常に見応えがあった。(油木)

女子3000m

14:00

山下 里絵 1位 11.41.34
 中村 奈都子 2位 11.44.77

3000mには2回生の二人が出場。スタートしてすぐ山下が飛び出し、中村がそれに続く。東大の宮本も後を追う。しかし1周過ぎあたりから宮本は次第に離れ始める。山下と中村はぴったりくっついたまま、どんどん宮本に差をつける。1000mの通過は二人とも3分52秒。その後も山下に中村がつき、きっちりとイープンにラップを刻む。2000mを過ぎると中村が少し飛び出す。後を追う山下。二人とも少しスパートを始め、ついにラスト一周。山下は再び中村を追い抜き、どんどんスパートし、11分41秒34でゴール。中村も粘り、11分44秒77とベストに迫る走りで、東大に大差をつけた。(田端)

三段跳

14:00

横矢 龍之介 2位 14m33 (+0.7m)

x 14m13(+0.6) 14m33(+0.7) 12m93(±0.0) 12m59(+1.0) x

福山 大典 3位 14m03 (-0.2m)

x 13m94(+0.1) 14m03(0.2) x x x

栗村 聡資 4位 14m02 (+1.4m)

x x x x 14m02(+1.4) 13m95(±0.0)

午後2時から開始した三段跳。天候は晴れ、風は少し回っていたが、記録を狙うには十分過ぎるほどのコンディションだった。11時半から走幅跳で自己ベストを更新した栗村は、ジャンプ自体の調子は申し分なかったが、足が合わず、後半には力みも出て結果は14m02にとどまった。横矢は午前の走高跳でもうひとつ記録がのびなかった。その鬱憤を晴らすべく、三段跳では1本目から大ジャンプを見せた。後半は疲れを見せたが、自己ベストも更新し、2位に食い込んだ。エースの福山は、今日は助走から本来の調子が出ていなかった。それでも14m台のジャンプをしたのはさすがといえる。今回全員が14m以上跳び、京大の層の厚さが見られた。(杉本)

やり投

14:00

堤 哲生 1位 59m92

57m02 59m25 58m03 55m02 57m63 59m92

松田 俊 4位 46m05

44m82 44m19 46m05 43m45 43m85 44m42

八木 美典 6位 43m99

39m19 43m97 42m68 x 43m99 43m84

第1投目、八木は様子見なのか、十分に力が発揮できなかった。松田、堤はまずまずのできだった。2投目に堤は自己ベストに近い59m25をマークした。3投目松田はうまく投げることが出来ていた。4投目は3人ともいい具合に投げることが出来ず、八木は自らファールとした。5投目に東大の池田が46m05を投げ松田と並んだ。6投目松田は記録を伸ばすことが出来ず、池田とはセカンド記録で負け4位となった。堤は6投目に手拍子を求めるなど、気合は十分で、やりは60mのラインあたりに落ち

たため、60mを超えたかと期待されたが、惜しくも8cm足りなかった。(木村)

5000m

14:20

西村 好康 1位 15.20.76

佐藤 章徳 3位 15.30.83

西村 重行 5位 15.39.19

号砲とともに、京大3人が勢いよく飛び出した。そんな中200mを過ぎたあたりから西村好が飛び出し、1周目ですでに独走態勢に入る。2位以下は東大の選手を先頭に5人で集団を形成していく。西村好は快調で2位以下をぐんぐん引き離し、優勝を2000mで確実なものとした。あとは自分との戦い、1500mの疲れもあり後半ペースを落としたが、それでも圧倒的な強さで優勝。2位集団は落ち着いたペースで進んだが、3800mで西村重が挑発的にしかけ、東大の選手が一人脱落。2位争いは激しくラスト200mにもつれ込んだ。佐藤が粘ったが惜しくも3位。西村重はラスト1周が伸びず5位でゴール。佐藤は自己ベストであった。西村重はけがのため、やや練習不足だったようだ。(宮木)

女子4×100mR

14:50

〔滝上伸子 - 北川佳奈 - 岩瀬祥子 - 中村奈都子〕

2位 59.29

1走はスムーズにスタートした。滝上と北川のバトンパスも練習どおりうまくいった。北川は100m、走幅跳、400mの後であったが、力強く走ってくれた。その後、岩瀬にも失敗無くバトンが渡った。中村は直前に出場が決まり、しかも3000mレースの直後であったが、アンカーをしっかりと走りきった。岩瀬・中村は中・長距離の選手であり、一方東大は短距離選手でそろえてきており、苦しいレースであったが、スムーズにバトンが渡ったことは唯一の救いであった。(山下)

4×400mR

15:00

〔花谷直人 - 藤井章輔 - 堀江匠 - 村地優樹〕

2位 3.24.86

1走の花谷は、いつも通り前半を抑えた走りで、少し離されたが、第3コーナーから猛追。しかし、強行日程の疲労がでたか、あまり伸びず、東大に少し遅れて2走へ。藤井は、前半からリズムにのれず、じりじり離されてしまう。ラスト直線に頑張りを見せるも、差は縮まらず3走堀江へ。堀江はテンポよくとびだし、差を縮めていくも、やはり400mの疲れがあったか、そのまま4走村地へ。村地は400mを優勝したので、期待はあったが、やはり20m近い差は覆せず、2着でフィニッシュ。全員が実力を出し切れなかったのが残念だった。(藤井健)

第12回関西学生対抗女子駅伝競走大会

(2002年10月5日・神戸しあわせの村周回)

順位	記録	チーム	第1区 3.9km	第2区 3.3km	第3区 6.5km	第4区 4.6km	第5区 5.1km	第6区 6.5km
1	1:40:28	佛教大	小室 麻里 (1) 12:55 (1) 12:55	石村 明子 (1) 23:34 (2) 10:39	瑞慶山アケミ (1) 45:45 (2) 22:11	飯島 希望 (1) 1:01:39 (1) 15:54	海野 圭代 (1) 1:18:45 (2) 17:06	越智 純子 (1) 1:40:28 (1) 21:43
2	1:42:42	立命館大	小黒 久子 (2) 13:00 (2) 13:00	丸毛 静香 (2) 23:36 (1) 10:36	伊藤 絵美 (3) 46:35 (6) 22:59	竹内 めぐみ (2) 1:02:58 (2) 16:23	池田 恵美 (2) 1:19:34 (1) 16:36	福田 千尋 (2) 1:42:42 (4) 23:08
3	1:44:16	京都産業大	山島 由香 (3) 13:03 (3) 13:03	今堀 美保子 (3) 23:58 (3) 10:55	陶山 春日 (4) 46:47 (4) 22:49	川越 千佳 (3) 1:03:37 (3) 16:50	上西 裕子 (3) 1:21:15 (3) 17:38	吉田 麻紗 (3) 1:44:16 (3) 23:01
4	1:44:33	人間科学大	佐々木英己子 (4) 13:23 (4) 13:23	前里 聖子 (4) 24:37 (4) 11:14	金崎 暢子 (5) 47:03 (3) 22:26	日野 祐里 (5) 1:04:01 (5) 16:58	岩澤 浩子 (4) 1:21:45 (4) 17:44	松本 恵 (4) 1:44:33 (2) 22:48
5	1:45:32	大阪体育大	鈴木 亜弥子 (6) 13:30 (6) 13:30	玉井 紘美 (6) 24:52 (6) 11:22	堀岡 智子 (2) 46:26 (1) 21:34	浦井 久子 (4) 1:03:49 (6) 17:23	正木 英理 (5) 1:22:13 (6) 18:24	永易 飛鳥 (5) 1:45:32 (5) 23:19
6	1:47:23	神戸学院大	吉本 実千留 (7) 14:08 (7) 14:08	藤岡 ゆか (7) 25:34 (7) 11:26	伊藤 貴恵 (7) 48:37 (7) 23:03	河上 有佳里 (7) 1:05:32 (4) 16:55	森 菜津子 (6) 1:23:51 (5) 18:19	上谷 聡子 (6) 1:47:23 (6) 23:32
7	1:49:08	龍谷大	力石 瞳 (5) 13:27 (5) 13:27	古林 英里 (5) 24:46 (5) 11:19	津田 早希 (6) 47:40 (5) 22:54	塚原 亜紀 (6) 1:05:30 (8) 17:50	野村 由弥 (7) 1:24:26 (7) 18:56	北野 優衣 (7) 1:49:08 (8) 24:42
8	1:51:40	武庫川女子大	楠本 絵美 (8) 14:15 (8) 14:15	小野 裕子 (8) 26:03 (8) 11:48	田中 真弓 (8) 49:19 (8) 23:16	津田 智美 (8) 1:07:23 (9) 18:04	前中 千恵 (8) 1:26:36 (9) 19:13	長谷川 友美 (8) 1:51:40 (11) 25:04
9	1:53:41	大阪国際大	野々村 心み (12) 14:43 (12) 14:43	栗原 果奈 (11) 27:06 (10) 12:23	森西 知加 (11) 51:55 (11) 24:49	岡副 真実 (9) 1:09:41 (7) 17:46	西井 美紗 (9) 1:28:58 (11) 19:17	野坂 絵美 (9) 1:53:41 (9) 24:43
10	1:54:33	大阪学院大	稲田 直子 (10) 14:28 (10) 14:28	小橋 亜衣 (10) 27:01 (11) 12:33	藤田 千里 (9) 50:40 (9) 23:39	佐伯 陽子 (11) 1:10:29 (14) 19:49	萩平 理絵 (10) 1:29:45 (10) 19:16	岡 美歩 (10) 1:54:33 (10) 24:48
11	1:57:12	関西外国語大	松本 奈緒子 (14) 15:07 (14) 15:07	口野 聡美 (14) 28:20 (13) 13:13	中野 聖子 (13) 54:20 (13) 26:00	和木 利衣 (12) 1:13:42 (11) 19:22	愛知 恵梨 (12) 1:32:46 (8) 19:04	塚原 麻里 (11) 1:57:12 (7) 24:26
12	2:00:16	天理大	羽多野有紀子 (9) 14:23 (9) 14:23	富田 ゆか (9) 26:35 (9) 12:12	矢野 良美 (10) 51:11 (10) 24:36	大谷 有希 (10) 1:10:22 (10) 19:11	大野 由梨 (11) 1:32:00 (14) 21:38	島 千恵子 (12) 2:00:16 (14) 28:16
13	2:01:03	大阪教育大	山脇 真由 (13) 15:03 (13) 15:03	高山 弥恵 (12) 27:42 (12) 12:39	岸田 喜江 (14) 54:49 (15) 27:07	奥山 郁恵 (13) 1:14:20 (12) 19:31	南 香奈絵 (13) 1:34:55 (12) 20:35	井上 奈緒子 (13) 2:01:03 (12) 26:08
14	2:04:15	京都大	佐々木 郁 (11) 14:38 (11) 14:38	岩瀬 祥子 (13) 28:08 (14) 13:30	田端 亜衣子 (12) 53:50 (12) 25:42	溜 宣子 (14) 1:15:18 (15) 21:28	山下 里絵 (14) 1:36:26 (13) 21:08	中村 奈都子 (14) 2:04:15 (13) 27:49
15	2:07:20	甲南大	杉山 佳美 (15) 15:32 (15) 15:32	横溝 由奈 (15) 29:41 (15) 14:09	伊藤 圭代 (15) 56:07 (14) 26:26	脇坂 美沙 (15) 1:15:43 (13) 19:36	山下 世梨香 (15) 1:38:27 (15) 22:44	福山 茜 (15) 2:07:20 (15) 28:53

新幹部挨拶

主将

寺田 智

新たに主将を務めさせていただきます。寺田智です。

このたびの東大戦は、七大戦に引き続き OB の皆様の多大な応援も賜り、見事優勝することができました。これは米谷前主将以下、部員一同一丸となって練習、競技に臨めた結果であると思います。この対校戦に向かう部全体の雰囲気を持続し、今年の駅伝、そして来年こそその関西インカレ一部昇格、さらには七大・東大戦の連覇に繋げていこうと思います。OB の皆様方にはかわらぬご支援・ご声援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

女子主将

大本 祐子

昨年に引き続き、女子主将を務めさせていただきます。

東大戦が対校戦となったことや、関西学生女子駅伝に出場したことで、女子にもチームとしてのまとまりがますます求められるようになりました。女子部員の少ない状況でチームの強化をはかるのは簡単ではありませんが、努力と工夫で女子全体の底上げをしていきたいと思ひます。OB の皆様方にはこれまで以上にご指導、ご声援をよろしくお祈ひします。

副将

背戸 和寿

平成15年度副将を務めさせていただきます。背戸和寿です。今年、七大戦、東大戦は勝利をおさめたものの、関西インカレ一部昇格は果たせませんでした。来年は、関カレ一部昇格、七大戦優勝、東大戦勝利をおさめられるよう、寺田主将をサポートしていきたいと思ひます。これからもOBの方々のご支援、ご指導のほど宜しくお祈ひします。

主務

花谷 直人

このたび新しく主務となりました、花谷直人です。私は主務の学連担当なので、あまり先輩方とは関わる機会がないかもしれませんが、ご指導のほどよろしくお祈ひします。

渉外主務

藤森 真一郎

今度主務を務めさせていただきます藤森真一郎です。選手がよりよい環境で競技、練習ができるように最善のサポートができるよう努力していきたいと思ひます。蒼穹会の皆様も変わらぬ御支援を宜しくお祈ひ申し上げます。

短距離チーフ

佐藤 真一郎

短距離パートチーフの佐藤真一郎です。専門は110mHです。七大戦、東大戦とマイルリレーの結果が芳しくありませんでした。その結果を踏まえ、より層の厚い短距離パートを目指していきたいと思ひます。これからも蒼穹会の先輩方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお祈ひします。

中距離チーフ 寺田 智

主将と兼任して中距離パートチーフを勤めさせていただきます、寺田智です。

中距離班は今回の東大戦、まことにふがいない結果を残してしまいました。まずこの敗因をパート員全員で考え、それをふまえた上で練習計画を立て実践していこうと思います。中距離はパート員が少ない分お互いを理解し、刺激しあって練習していくことがたやすいパートです。各人が明確な目標を持ち、集中して練習を行えるよう引っ張っていこうと思います。来期には中距離班が対校戦で再び得点源となれるようがんばっていきますので、どうぞよろしくお願いたします。

長距離チーフ 佐藤 章徳

関西学生駅伝後、長距離パートチーフを勤めさせていただく佐藤章徳です。

今年の長距離パートはエース西村好康におんぶにだっこの状態で、長距離全体としては、対校戦で部に貢献できたとは言えません。この反省を踏まえ、来年は、パート員個々人の力を伸ばしていけるよう、練習からチーム一丸で闘う意識を高めていきたいと思います。そして、まずトラックシーズンでは今年の借りを返し、その伸ばした力を合わせて秋の駅伝に臨みたいと思っています。

皆様には、今後とも温かく見守って下さいますよう、どうかよろしくお願致します。

投擲チーフ 河村 和彦

新投擲パートチーフを務めさせていただきます河村です。今年で堤先輩、八木先輩が抜け投擲パートとしては戦力ダウンが心配されますがその穴を埋められるよう全員で頑張っていきたいと思います。三回一人、二回二人、一回二人と人数の少ないパートですが、その分全員が専門種目はもちろん副種目でも活躍できるようにパートチーフの私も率先していきたいと思います。

跳躍チーフ 渡邊浩一

このたび跳躍パートチーフを務めさせていただくこととなりました渡邊浩一です。伝統ある京都大学陸上部の幹部になるというだけでもその責任の重さに気後れしてしまいそうだというのに、あまつさえオリンピック金メダリストまで輩出しているとなるとなのおこと身も縮む思いですが、幸いにして力ある後輩達にも恵まれたことですので、オリンピックとまでは言わないまでも宿願である関西インカレ一部昇格を果たすべく微力ながら力を尽くす所存です。



東大戦走高跳 渡邊浩一



蒼穹ニュース 平成14年度 第6号
平成14年10月18日 発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部
編集者：岩瀬祥子・真鍋文朗・大崎友数・北垣卓・田中齊太郎（副務）
特別協力：森一（学連員）・滝上伸子（体育会員）
佐藤章徳（記録係）・背戸和寿（HP係）
写真担当：垣畑陽・菅原健志・村地優樹

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/>
蒼穹ニュース HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/soukyu.htm>
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>
メールアドレス cqs02404@nifty.com（田中）